

令和 3年度

事務事業評価表（ 令和 2年度 の実績評価）

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		桜川市図書館建設検討事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	新規	事務事業No.	020203001046
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	政策名	0202	生涯学習・芸術文化活動の推進						生涯学習課
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名	
	施策名	02	生涯学習・芸術文化活動の推進					グループ	生涯学習G
	手段名	03	③生涯学習・文化施設の活用					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	02	01	00	公民館管理事業（岩）		
法令根拠						桜川市図書館建設検討委員会設置要綱			
【Do】						1. 事務事業の現状把握（その1）			

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	<p>桜川市は全国でも9市しかない図書館を持たない市であることから、桜川市民のニーズに合った図書館の構想を検討、計画にまとめることで桜川市にあるべき図書館像を明らかにし、今後の図書館建設に結びつける。 令和2年度に基本構想を策定したが、公民館と複合化する見込みとなったため、令和3年度は「複合施設建設事業」として再スタートする予定である。</p>		<p>【計画案の作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市図書館建設検討委員会のたたき台となる計画案の作成</li> </ul> <p>【検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員の委嘱（10名以内）、会議の開催（日程調整、資料作成等）</li> </ul> <p>【答申】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の検討結果を元に基本構想案を策定し、教育委員会へ答申</li> </ul> <p>⇒複合施設建設事業へ引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画策定（業務委託発注）</li> <li>基本・実施設計委託</li> <li>岩瀬中央公民館解体関連（設計・工事）</li> </ul>		

①手段（担当者の活動内容）							④活動指標（活動量を表す指標）										
							単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画案作成</li> <li>資料作成</li> <li>開催日程調整</li> <li>議事録作成</li> <li>計画策定</li> </ul>							検討委員会開催回数					回	0.00	3.00	1.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）							⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）										
							単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市図書館建設基本構想・計画</li> <li>図書館建設検討委員</li> </ul>							図書館建設検討委員					名	0.00	10.00	10.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）							⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）										
							単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)					
桜川市にあるべき図書館の姿を示すことにより、図書館建設事業へとつなげる。							策定計画案					案	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
							策定構想案						0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量（事業費）の推移							01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			0
			県支出金	千円	0	0	0			0
			地方債	千円	0	0	0			0
			使用料・手数料	千円	0	0	0			0
			その他	千円	0	0	0			0
			一般財源	千円	0	51	0			0
			事業費計（A）	千円	0	51	0			0
			正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	0.00人			

事 業 費 の 内 訳	02年度事業費 実績（千円）				03年度事業費 予算（千円）			
	01 報酬	48						
	10 需用費	3						
				合 計	51			合 計

事務事業名	桜川市図書館建設検討事業	事務事業No.	20203001046	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成29年8月21日：市民より図書館建設を求める請願書が市議会へ提出 同年 11月16日：文教厚生常任委員会で趣旨採択 →平成30年度から予算化 令和2年12月：桜川市新図書館建設基本構想策定					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
【市民】 ・公民館やICT機能を備えた最新型の図書センターを要望する。 ・市の将来にとってインテリジェンスの拠点となる施設として作ってほしい。 【議会】 ・合併特例債事業「岩瀬駅跨線橋・ミニ図書館建設事業」との整合性を取るよう求められている。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 新たな図書館の建設は、総合計画「生涯学習・芸術文化活動の推進」の中に掲げられており、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市は全国でも数少ない図書館の無い市の一つであり、市民の知の拠点としての図書館整備は強く求められている。図書館のサービスは基本的に無償であり、営利を求めない自治体以外に建設することは難しい。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桜川市には公民館図書室しか無いため、人口規模に対して図書等の資料があるべき水準に達していないことから、図書館としての水準を満たした図書館施設を建設することにより市民の学習意欲向上や生涯学習活動の活性化が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市が図書館の無い市から脱却できず、市民のニーズが満たせない。他の自治体に比べて生活環境・学習環境が劣ったままとり、よりいっそうの人口の減少につながる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 具体的な手段、事務事業名 岩瀬中央公民館管理事業、大和中央公民館管理事業 市内公民館施設は老朽化が進んでおり、それらの更新と併せて計画することにより公共施設数を増やさずに施設の充実が図れる。また、図書館ができることにより公民館図書室を統廃合・整理することが可能になる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限となる会議費用の予算しかないため、削減余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 図書館は市民全員が使える知の拠点であり、これまで整備がされてこなかった施設であることから市民ニーズも高く、公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）																								
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	基本構想までは計画通り進めることができたが、策定後、岩瀬中央公民館の改築の必要性が明らかになったことから、基本計画については公民館の改築と併せて策定することになった。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
岩瀬中央公民館の耐震性不足・長寿命化不可のため、現施設の解体・改築を急ぐ必要がある。図書館と併せることでこれまで以上に充実した生涯学習施設になる可能性が高いことから、公民館と図書館の機能を融合させることができる優れた設計者選定が必要である。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>